

阿部 絏 いち **あべこう一** 県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

阿部絏一県議、議場で吠える

看護師確保は喫緊の課題

県議会議長など県政の要職を重ね、県議会ですます存在感を高める稲毛区選出の阿部絏一(あべ・こういち)

県議は、12月定例議会の一般質問に登壇し、冒頭で森田知事の県政運営に一定の成果を認めながらも、医師・看護師不足やこども医療費の助成など、県民の立場からは課題も残ったと厳しく評価しました。その看護師不足や公共事業の透明性の確保、がん対策など、県民視点に立った阿部県議の主な質疑を特集しました。



壇上から知事への評価を語る阿部県議

議場の冒頭あいさつ

皆さま、こんにちは。稲毛区選出の阿部絏一です。質問に入る前に一言申し上げます。

森田知事には、間もなく4年間の任期満了となります。現在、4年前の公約と実績との対比を含めて、ご自分なりの検証をされているかと思いません。わが党の代表質問で、知事はこの4年間の実績を具体的に述べられました

た。

確かに、それなりの成果を上げてこられたと評価いたしますが、反面、課題として残ったものもあると思えます。特に県民の命に係る課題として、医師不足、看護師不足、こども医療費

医師・看護師数は県民10万人当たり全国ワースト3位、こども医療費の拡充については、毎年市町村から

12月県議会一般質問に登壇

多くの要望が出されていますが、なかなか進展が見られません。いつも国の動向を見て、そして長期間を要するとの答弁であります。

何とか県としてもう少し財政的な支援策はないものか。執行部には県民の命や健康に係る課題については、さらに真剣に取り組んでいただきますよう、要望し、通告に従い質問に入らせていただきます。

の立場に立ったナースセンター事業の拡充・強化が急務と思うが、県の考えはどうか。

森田知事 今後の少子高齢化の進展を踏まえると、看護職員を確保するためには、養成本の強化に加えて、復職支援を一層強化する必要があると認識しています。

また、看護技術に不安がある方に対する看護基礎技術講習や、訪問看護に興味のある方向けの訪問看護基礎研修を実施しています。引き続き、看護職員の復職支援にしっかりと取り組み、ナースセンター事業のさらなる充実・強化を図ってまいります。

訪問看護師の確保

阿部議員 千葉県では、全国2位のスピードで高齢化が進む見込みであり、増加する医療・介護ニーズに対応するためには、地域の実情に応じた「地域包括ケアシステム」の構築が必要です。住み慣れた居宅、地域で暮らし続けること目指す同ケアシステムでは、看護職員はそのキーパーソンとなるべき重要な存在です。

在宅医療を支える訪問看護

看護師の確保は、今後の在宅医療の増大に対応するためにも、本県が取り組むべき重要な課題といえます。しかしながら、本県の訪問看護師は平成26年末で、常勤換算で957人であり、十分な人数が確保されているとはいえません。

そこで伺います。県では、訪問看護師の確保・育成にいつてどのように取り組んでいるのか。

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこう一 県事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX 043-285-2192

阿部 絏一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

森田知事 今後、超高齢社会を迎え、在宅医療のニーズが高まる中、訪問看護師の確保は大変重要な課題だと認識しています。

このため、県では「訪問看護推進事業」として、訪問看護に関する課題等を検討する協議会や、総合相談窓口の設置、普及啓発パンフレットの配布などを実施しています。さらに今年度からは、基礎研修を修了した方に対する訪問看護ステーションの見学体験研修や、経営者や指導者に対する研修も開始したところです。

引き続き、訪問看護師の確保について、県看護協会とも連携し、しっかりと取り組んでまいります。

道徳の教科化で考えただす

重要な公共事業の透明性確保



再質問で要望を述べる阿部県議

阿部議員 道徳の教科化は、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から完全実施となります。人格の完成及び国民の育成の基礎となるのが道徳性であり、その道徳性を養うことが道徳教育の使命です。

千葉県では、「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」の中で、「道徳性を高める実践的な人間教育の推進」を掲げ、幼児期から高等学校まで発達段階に応じた途切れない道徳教育を推進しているところであり、県民一体となった千葉県独自の取り組みを推進していると考えています。

県教育委員会は、道徳教育推進について、これまでのような取り組みをしてきたのか。

内藤教育長 県教委では、平成22年度に「千葉県道徳教育の指針」を定め、「い」のちのつながりと輝き」を

主題として道徳教育を体系化し、学習内容の重点化を図るとともに、道徳の時間を積極的に地域の方々に公開

阿部議員 これまでの取り組みを踏まえて今後、道徳の教科化へ向けたような取り組みを進めていくのか。

内藤教育長 現在、県教委では考え、議論する小学校用道徳映像教材の作成を進めるとともに、教職員一人ひとりが道徳の教科化の趣旨を踏まえた適切な指導を行う

「道徳教育の手引き」

阿部議員 これまでの取り組みを踏まえて今後、道徳の教科化へ向けたような取り組みを進めていくのか。

内藤教育長 現在、県教委では考え、議論する小学校用道徳映像教材の作成を進めるとともに、教職員一人ひとりが道徳の教科化の趣旨を踏まえた適切な指導を行う

阿部議員 これまでの取り組みを踏まえて今後、道徳の教科化へ向けたような取り組みを進めていくのか。

内藤教育長 現在、県教委では考え、議論する小学校用道徳映像教材の作成を進めるとともに、教職員一人ひとりが道徳の教科化の趣旨を踏まえた適切な指導を行う

公共事業評価制度

阿部議員 県民から預かった貴重な税金を無駄にせず、かつ必要な社会資本を継続的に整備していくためには、今まで以上に選択と集中による効果的・効率的な投資が必要であり、県

阿部議員 県民から預かった貴重な税金を無駄にせず、かつ必要な社会資本を継続的に整備していくためには、今まで以上に選択と集中による効果的・効率的な投資が必要であり、県

また、教職員用の指導資料として「道徳教育の手引き」を作成し、すべての公立学校に配布するとともに、教職員の指導

また、教職員用の指導資料として「道徳教育の手引き」を作成し、すべての公立学校に配布するとともに、教職員の指導

がん受診率の向上訴え

受診率50%が目標

阿部議員 がんは2人に1人がかかる病気であり、また死亡する人の3人に1人が、がんで亡くなるといわれています。現在、がんは早期に発見できれば、ほぼ9割が治るといわれており、がんによる死亡を減らすには、がん検診の受診が極めて重要です。

そこで伺います。県のがん検診の受診率の状況はどうか。また、県は計画に掲げた目標である受診率50%を達成するために、どのように取り組んでいくのか。

ピア・サポーター

阿部議員 がん体験者が「ピア・サポーター」として、がん患者やその家族の方の相談を受け付け。同じ立場でがん患者や家族に寄り添ったアドバイスを行うことは、がんの療養に伴う不安や悩みを和らげる上で、非常に有効だと思います。

県は、「ピア・サポーターズサロンちば」にどのように取り組んでいるのか。

古元保健医療担当部長 県では、ピア・サポーターが、がん患者等の悩みに耳を傾け、また、自らの経験などを語ることで、がん患者の

県土整備部長 公共事業の透明性確保のため、県では、国庫補助事業のほか、原則として全体事業費が40億円以上の公共事業について、学識経験者など10名からなる「公共事業評価審議会」に諮り、評価することになっています。

阿部議員 これまでの検証状況及び検証結果はどうか。また、県民へどのように示しているのか。

古元保健医療担当部長 不安や悩みの解消を図ることを目的として「ピア・サポーターズサロンちば」を開催しています。

平成23年度から27年度までに、千葉県がんセンターやがん診療拠点病院など12病院で延べ67回開催し、がん患者やその家族797名、ピア・サポーターが述べ616名参加しています。

引き続き、開催する病院を増やすなど、「ピア・サポーターズサロンちば」の充実に努めてまいります。

県土整備部長 現在の評価制度を導入した平成23年度以降の5年間で、道路のバイパス整備の必要性や妥当性に係る事前評価を2件行ったほか、継続中の事業では、社会情勢の変化を踏まえて38件の再評価を行ない、うち37件の継続が妥当と評価されたところです。

一方、幕張新都心拡大地区で下水処理水を再利用する「再生水利用下水道事

業」1件は、需要の大幅減少が見込まれたことから、中止が妥当と評価され、平成24年度に事業を中止したところです。

また、公共事業評価審議会は、原則公開としており、その配布資料や審議結果、議事概要についても県のホームページで公表しています。

要望 ぜひとも評価の対象事業の範囲を、全体事業費が40億円未満の事業についても広



全国都道府県議会議員研究大会で真っ先に意見表明する阿部県議